

公益財団法人マツダ財団

2025年度事業計画書

(2025年4月1日から2026年3月31日)

公益財団法人マツダ財団2025年度 事業計画 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

- ◆マツダ財団の設立趣旨に沿った社会貢献活動を行い、マツダ財団の存在価値を高める。
 - ◆現状に合わせて微修正した「24中期事業計画」に基づき、事業変革を着実に進める。
- 当事業年度は、これまでの歴史・実績を踏まえて、既存助成事業の改革を着実に進めると共に、「つなぐ」をテーマに、支援者の課題解決や新たな価値創造を支援する存在感のある財団を目指す。厳しい資金環境の中、業務プロセス変革を進めることで管理費を削減し、2024年度に拡大した事業を維持・継続させる。事業費総額は、4万円減の**6,105万円**とする。

I. 科学技術振興関係事業

1. 研究助成 (全国)

<マツダ財団研究助成>

先進性・独創性に優れた基礎研究および応用研究に対し助成を行う。また、若手研究者、萌芽的研究、循環・省資源への重点助成とする。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| (1) 助成対象研究分野 | ① 機械 ② 電子・情報 ③ 化学系材料 ④ 物理系材料 |
| (2) 助成金総額・件数 | 3,000万円、30件 |
| (3) 1件当たり助成金額 | 100万円 |
| (4) 助成期間 | 1年または2年 |
| (5) 募集方法・募集期間 | 公募、2025年4月中旬～同年5月末日 |
| (6) 選考方法 | 選考委員会による審査・選考 |

<マツダ財団研究助成奨励賞>

マツダ財団研究助成対象の中から各分野1件、優れた研究に対して授与する。

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1) 副賞(追加助成金) | 50万円/件 |
| (2) 助成金総額・件数 | 200万円、4件 |

<フォローアップ取り組み>

- ・贈呈訪問を行う(全30件)
- ・分野別のオンライン交流会を開催する。
- ・社会実装に向けた産学連携を支援

<「高校生 科学への誘い」講座の開催> (中国5県)～ 検証事業1

研究助成を行っている若手研究者に、広島県内の高校で科学に関する講義やワークショップを行っていただき、高校生の科学への興味関心、ひいてはアカデミアやエンジニアという将来の選択肢につなげる。

- | | |
|------------|------------------------------------|
| (1) 対象・方法 | 助成先の全国の研究者と中国5県の中高・高専 |
| (2) 実施時期 | 2025年4月～2026年3月 |
| (3) 本財団の役割 | ① 講義開講の企画・推進
② 諸経費の負担
③ 事例共有 |

(4) 予算総額・件数 10万円、2件

2. 事業助成 (中国5県)

科学技術の振興は持続可能な社会の実現には不可欠であると共に、国の礎であるとの思いのもと未来を担う青少年が科学技術に興味を持つことや彼らを育成する活動を助成する。

中でも、高校生の自主活動として、科学に関する探求や科学クラブの取り組みを優先する。

- (1) 助成金総額・件数 200万円 (20～25件 程度)
(2) 募集方法・募集期間 公募、2025年4月初旬～同年5月中旬
(3) 選考方法 選考委員会による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・視察を行う。
- ・オンライン交流会を開催する。

3. 科学わくわくプロジェクト (広島県)

小中学生や中学生をメインに科学にわくわくする機会を提供し、「科学するところ」を養うことを目指した事業。広島大学と連携して実施。

(1) 「小中学校理科ひろば」

小中学校で実験の示範授業を行う

- ・実施時期 2025年7月以降
- ・実施場所 要請のある小学校(広島市教育委員会との連携、30校程度)

(2) 「サイエンスレクチャー」

中学生・高校生を対象としたハイレベルな内容の講義

- ・実施時期 2025年度下期
- ・実施場所 要請のある中・高等学校(広島市教育委員会との連携、4～5校)

(3) 「専門家による科学教室(旧ジュニア科学塾)」

中学生(公募)を対象とした科学に関する幅広い内容を発展的、継続的に学習する演習講座

- ・実施時期 2025年度通期
- ・実施場所 未定

(4) 予算総額 100万円

<フォローアップ取り組み>

- ・視察を行う。
- ・実行委員会を対面で実施する。
- ・広報面での支援を行う。

4. サイエンスサロン (広島県) ～ 検証事業2

研究者が自らの研究を一般市民に分かりやすく伝える場を設け、青少年だけでなく、青少年を支える保護者や地域住民が科学に触れることで科学を楽しめる土壌を作る。広島大学との連携。

- ・実施時期 2025年度通期
- ・実施場所・件数 広島県内 年間4件

予算総額 8万円

5. 諸経費 548万円

4つの事業を企画・推進・フォローするために必要な費用。

科学技術振興関係事業費 計 4,066万円

II. 青少年健全育成関係事業

1. 研究助成 (全国)

「青少年の健全育成」に係る教育現場及び市民活動の活性化に役立つ汎用性の高い研究（基礎的研究を含む）を対象とする。

(1) 助成対象分野

- ・ ボランティア育成
- ・ 地域連帯・コミュニティづくり
- ・ 国際交流・協力
- ・ 若者の居場所づくり
- ・ 自然とのふれあい
- ・ 科学体験・ものづくり

(2) 助成金総額・件数 400万円、5件程度

(3) 助成期間 1年または2年

(4) 募集方法・募集期間 公募、2025年4月中旬～同年6月中旬

(5) 選考方法 選考委員会による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・ 贈呈訪問を行う
- ・ オンライン交流会を開催する。
- ・ 市民活動団体と合同でオンラインサロンを開催する。
- ・ 終了時に市民活動支援等と合同で成果報告会を開催する。

2. 市民活動支援 (広島県・山口県)

青少年健全育成のための地域に密着した活動を支援する。

(1) 助成対象分野

- ・ ボランティア育成
- ・ 地域連帯、コミュニティづくり
- ・ 国際交流・協力
- ・ 若者の居場所づくり
- ・ 自然とのふれあい
- ・ 科学体験・ものづくり

(2) 支援対象地域 広島県、山口県

(3) 支援金総額・件数 800万円、30件程度

(4) 1件当たり支援金額 10～50万円

(5) 支援期間 1年

(6) 募集方法・募集期間 公募、2025年10月中旬～2026年1月中旬

(7) 選考方法 選考委員会による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・ 全団体の活動視察を行う。
- ・ 対面での贈呈式を開催する（広島・山口）。
- ・ オンライン交流会を開催する。

- ・研究助成と合同でオンラインサロンを開催する。
- ・オンラインセミナーを開催する。
- ・終了時に研究助成等と合同で成果報告会を開催する。

3. 感動塾・みちくさ (広島県)

子どもたちが自然に触れ、体験や実験などを通じて、科学に対する興味を深め、自分たちで創意工夫することにより科学を学ぶ心を養うことを目的に、2施設で実施する。

- | | |
|--------------|--|
| (1) 共同事業 | (公財)広島市文化財団との共催 |
| (2) 対象・人数 | 広島市およびその周辺在住の小学校3年～6年、1か所30人程度 |
| (3) 期間 | 2025年8月 |
| (4) 場所 | (公財)広島市文化財団の青少年活動施設
・広島市青少年野外活動センター
・広島市三滝少年自然の家 |
| (5) 募集方法 | 公募(応募多数の場合は抽選) |
| (6) マツダ財団支援額 | 100万円 |

4. 「こどもミライクエスト」 (広島県) ～ 検証事業3

社会的養護が必要な子どもたちに、いつもと違う学習機会、非日常の楽しみを提供し、自身の好きなこと、潜在能力などに気づく一助としてもらうことを目的に実施する。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 共同事業 | 広島修道院、母子生活支援
感動塾 みちくさ、科学事業助成、市民活動と連携 |
| (2) 対象・人数 | 思春期前の子ども・16名 |
| (3) 期間 | 2025年7月28日～30日 |
| (4) 場所 | ほしはら山のがっこう |
| (5) 募集方法 | 未定 |
| (6) マツダ財団支援額 | 50万円 (検証事業) |

<フォローアップ取り組み>

- ・活動視察
- ・参加者アンケートによるPDCA改善

5. 若者×ツナグバ (広島県・山口県)

「社会人になる直前」「社会に出て間がない」若者に対して、「対話」「表現活動」「居場所づくり」等の活動を推進する。そのために、若者が主体となっていく社会貢献活動を支援し、「若者と地域」また、「若者同士」の繋がりを後押しする事業を展開する。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| (1) 支援対象地域 | 広島県・山口県 |
| (2) 支援金総額・件数 | 90万円、5件 |
| (3) 1件当たり支援金額 | 30万円以下 |
| (4) 支援期間 | 1年 |
| (5) 募集方法・募集方法 | 公募、2025年10月中旬～2026年1月中旬 |

(6) 選考方法 書面審査とプレゼン審査

<フォローアップ取り組み>

- ・隔月でオンライン交流会を開催する。
- ・一堂に会して地域の方々と交流する「若ツナフェスタ」を開催する。
- ・オンライン討論会「若ツナサミット」を開催する。
- ・終了時に研究助成・市民活動支援等と合同で成果報告会を開催する。

6. 講演会 (広島県)

若者の未来を拓くことを目的とする講演会を開催する。

- (1) 開催場所 広島国際会議場 フェニックスホール <予定>
(2) 開催時期 2025年10月19日(日) <予定>
(3) 募集方法 公募(先着順)
(4) 予算額 146万円

7. 大学寄付講義等 (広島県)

広島市近郊の大学に対する寄付講義を実施する。

「ディベート演習」

学生が、データに基づいて自分の意見を述べ、また人の意見に傾聴する力を養うことを目的とする。

- (1) 対象・方法 広島女学院大学 <予定>
(2) 実施時期 2025年5月～6月 週1回
(3) 本財団の役割 ① 講義内容の企画・立案
② 講師の派遣
③ 演習内容の評価
④ 諸経費の負担
(4) 予算総額 2万円

*以上の他、広島大学大学院「コミュニケーション能力開発(ディベート演習)」へ講師派遣。

8. 諸経費 451万円

7つの事業を企画・推進・フォローするために必要な費用。

青少年健全育成関係事業費 計 2,039万円

以上